

西尾市



西尾市防災マスコット
「ぼうサイくん」

地震津波対策の取り組み

西尾市の概要

面積 160.34km²
人口 169,742人
(H25.7.1現在)

61.8kmの海岸線
南部に海拔ゼロメートル地帯



過去の自然災害

1707年 宝永地震 干拓地で津波被害

1854年 安政東海地震 堤防決壊、液状化

1891年 濃尾地震 死者6名、建物全壊 280棟

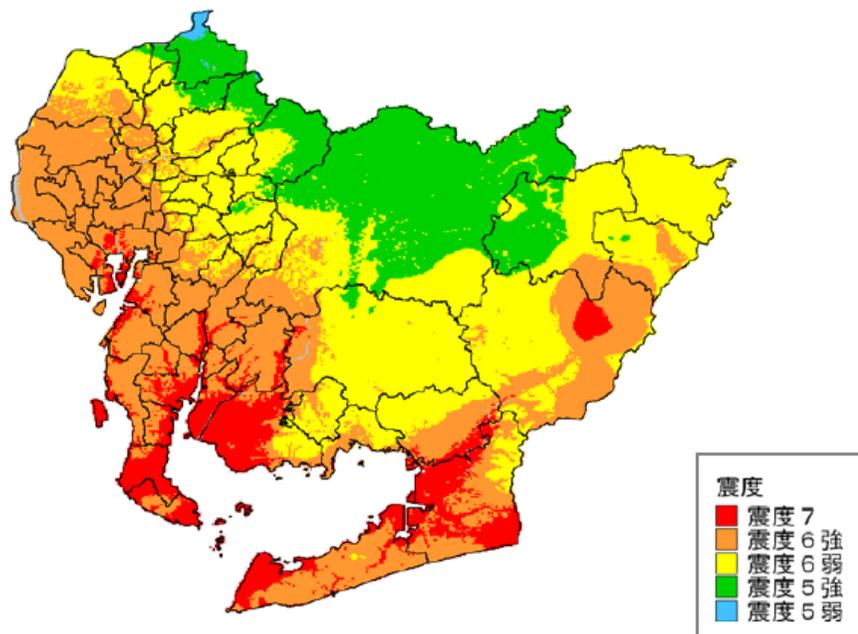
1944年 昭和東南海地震 死者55名、建物全半壊 約9千棟

1945年 **三河地震** 死者**1,170名**、建物全半壊 約2万棟

1953年 台風第13号 死者32名、建物被害 約2万6千棟

1959年 **伊勢湾台風** 死者35名、建物被害約2万1千棟

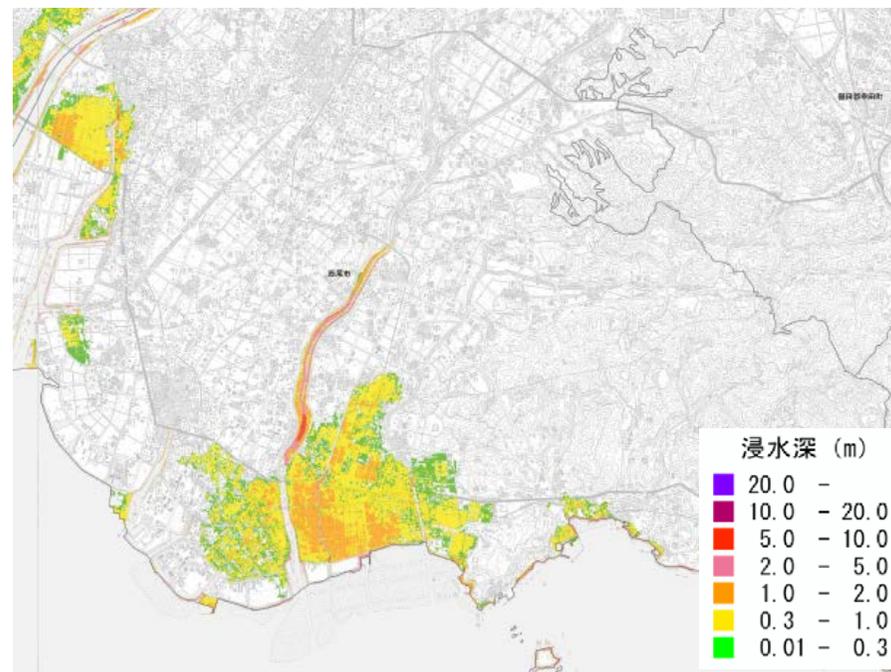
南海トラフ巨大地震による被害想定



市域の大半が震度7

内閣府モデル検討会(2012)公表資料より

沿岸部で浸水被害



南海トラフ巨大地震による被害想定

死者 **1,800**人

死因内訳

建物倒壊	1,400人
津波浸水	100人
火災	300人

- 津波よりも建物倒壊による被害が大きい

全壊焼失

市内全体の **4割**

29,000棟

(内、津波浸水は100棟)

愛知県防災会議地震部会(2013)公表資料より

- 住宅の耐震化、家具固定などが重要

知識の普及と意識改革

① 標高マップ

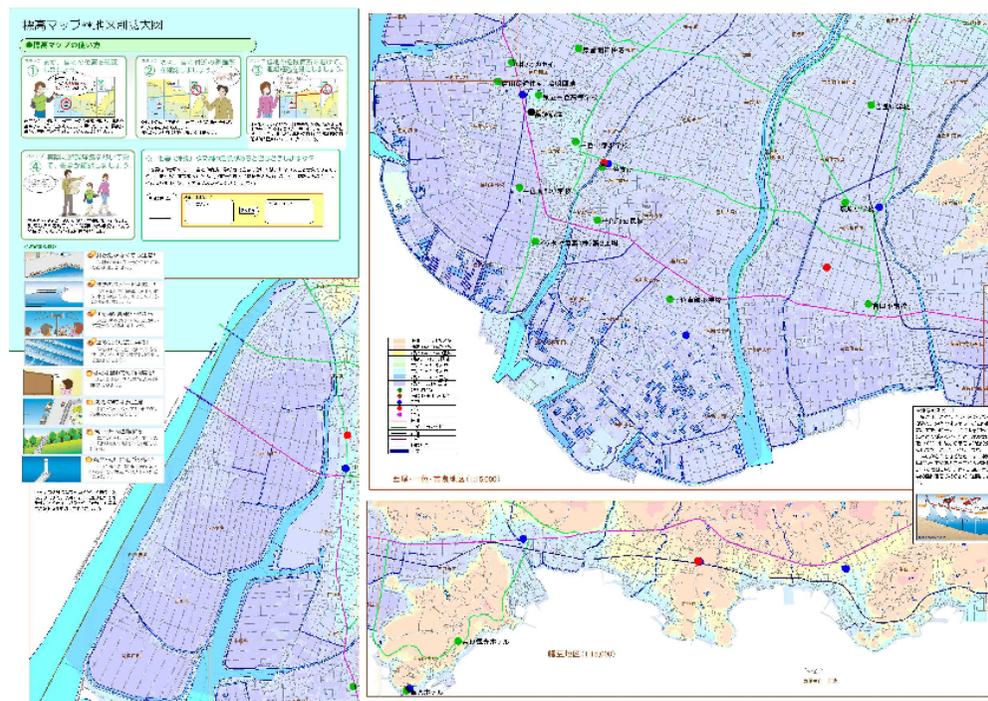
全世帯に配布

② 標高表示板の設置

自主防災会で場所を選定して、取り付け

③ 防災出前講座の実施

被害想定の説明



地域を知る・正確な情報提供

知識の普及と意識改革

- ④防災・減災セミナー 全13講座
(株)スギ薬局、(株)デンソー、海上保安庁他
大学、民間企業、行政機関など多岐に渡る内容
- ⑤津波一時待避所の指定 17箇所
民間施設などの協力
- ⑥中学生による防災フォーラム(2月予定)
自主的な防災研究、防災を教育に
- ⑦小学生、保育園児への啓発



自助・共助の意識

西尾市制施行60周年記念事業



11月5日(火)
津波防災の日

全市一斉防災行動
17万人市民まるごと防災訓練

一斉防災行動

- 平日の昼間に実施
- 従来の展示型訓練を見直し
- 家庭、企業、学校、自主防災会などが自主的に行動

⇒ 課題を見つけ、
今後のステップへ

黄色いタオルが
「被災者ゼロ」の証

西尾市制施行 60周年記念事業



みんなで一斉防災行動!

17万人市民まるごと防災訓練

津波防災の日

11/5(火)

AM9:00
スタート

当日の流れ

STEP 1

AM9:00
ジャスト
巨大地震発生!!



南海トラフにおいて、マグニチュード9クラス、震度7の巨大地震が発生したものと想定して訓練を開始します。

STEP 2

防災行政無線・
緊急速報メール
による伝達



防災行政無線の屋外スピーカーによる情報伝達やNTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話へ緊急速報メールの送信が行われます。
※携帯電話は対象外の機種もあります。

STEP 3

さあ、みんなで
一斉防災行動!



各家庭や自主防災会、保育園、学校、会社など、さまざまな場所でそれぞれの立場、状況に応じた訓練を自主的かつ積極的に実施しましょう。

※市災害対策本部(訓練本部)の開設は正午までです。

幸せ防災!

黄色いタオル作戦

全世帯対象

手続き カンタン!

訓練の
事前参加登録に
ご協力ください!

裏面を
ご覧下さい

みんなで一斉防災行動のひとつとして、「わたしは無事です」というメッセージを伝える黄色いタオルを自宅の見やすい場所に掛けてください。

これは、安否確認を効率的かつ迅速に行うものであり、災害による「被災者ゼロ」の証でもあります。

黄色いタオルを
玄関先などに
掛けてね!

※黄色いタオルがない場合は、その他の色つきタオルなどを代用してください。
※訓練時間に自宅にいない場合は、お出かけ前にタオルを掛けてください。

西尾市防災マスコット
「ぼろサイくん」



主唱:西尾市防災会議 主催:西尾市

応援協定・応援体制の強化

- 山形県米沢市との相互応援協定（H25.6）
 - 西三河九市一町相互応援協定（H25.7）
岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、知立市、
高浜市、みよし市、幸田町
食糧や資機材の提供、職員派遣、被災者の受入など
- ほか義士親善友好都市（全国22市区）、福井県越前町、
岐阜県恵那市と締結

越前町と恵那市と合同防災訓練

⇒ **協定の形骸化を防ぐ**

その他の取り組み

■ 公共施設の再配置

避難施設としての利用を考えたホールのフラット化
空き部屋を備蓄倉庫として利用

⇒ **施設のスリム化と防災機能アップの両立**

■ 福祉避難所に関する協定

民間福祉団体など47施設を福祉避難所に指定

■ 防災アドバイザー

群馬大学大学院の片田敏孝教授を防災アドバイザー
に任命 ⇒ **実践的な防災施策に反映**

多方面からの取り組みを加速

これからの課題

■ 住宅耐震改修の促進

耐震化率 現状(H24) 69.9% ⇒ 目標(H32) 95.0%

■ 企業との連携・協力

ケーブルテレビ、コミュニティFMと協力した災害放送、緊急情報の伝達手段、監視カメラの設置
企業の地域貢献を促す施策づくりが重要

■ 職員の意識改革・災害対応力アップ 図上訓練の実施、研修の充実

